

# 第50回 熊本県PTA研究大会 阿蘇大会

～阿蘇の大自然を学びの研究所に、未来育む子育てを共に探求しよう！～

## 大会趣旨

変化の激しい現代社会。子どもたちが目指す未来への道筋はますます多様化しています。私たち大人には、子どもたちが選び取る未来に向かって、子どもたちと共に考え、導いていく責任が求められています。

私たちの故郷「阿蘇」には、医学の発展に偉大な功績を残した研究者がいました。北里 柴三郎。研究に没頭すること4年の時を経て、破傷風菌の純粋培養に世界で初めて成功しました。誰にも航路はわからない中で、目指す未来に向かって必死に前進し続けながら、多くの医学者を育てた彼の道筋は、さながら現代の子育てにも通じるものがあります。

阿蘇大会は、『未来を育む子育て』をコンセプトに、家族や親子の絆をより一層深めるための『家庭教育力』の向上を保護者と学校が一体となって実現することを目指します。

先人がたどってきた道筋に思いをはせながら、雄大な自然に囲まれた「Aso Lab.」で、それぞれの探究心を刺激したい、PTAが家庭と地域をつなぐ役割を持つことを再認識し、子育てについて共に学びましょう。

## 大会スケジュール

第1分科会		西原村総合体育館
12:00～	受付開始	(40分)
12:40～	アトラクション	(20分)
13:00～	開会行事	(30分)
13:40～	記念講演	(60分)
15:15～	講演	(60分)
16:20～	閉会行事	

第2分科会		阿蘇中学校体育館
第3分科会		高森中学校体育館
12:20～	受付開始	(30分)
12:50～	アトラクション	(20分)
13:20～	開会行事	(20分)
13:40～	講演	(60分)
15:15～	講演	(60分)
16:20～	閉会行事	

## 第2分科会

会場 阿蘇中学校体育館(500名) アトラクション くろつぐみ 黒鶏太鼓  
運営責任者 池 裕子(家庭教育委員会)

テーマ 家庭支援

演題 ～人生を好転させる『新・陽転思考』～

親が子どもたちと共に成長する日々においては、時に試練や困難に直面します。現状を好転させたいと願う人もいるかもしれませんが、そんな人に試してほしいのが「陽転思考」です。陽転思考では、良いことも悪いこともあるがままたまに受け入れて、悪い面からも良い面を探し出そうとします。講師の和田裕美氏は、この陽転思考によって人生を好転させてきたのだそうです。どうやったらそうなるのか知りたくないですか？



講演



著述家・実業家  
FM FUJI [WADA CAFÉ]  
パーソナリティー  
和田 裕美氏

テーマ 地域連携

演題 地域が繋ぐ伝統芸能 ～神楽男子の誕生～

阿蘇市波野地区に古来より伝わる神楽。その伝承を通して地域との繋がりを深めながら、郷土を愛し、共に育った仲間と夢を追いかける青年たち。「神楽男子」は、そんな地元青年たちを中心としたユニットです。彼らは、神楽の伝承を通して育んだ郷土愛、いわば神楽愛を地元で育つ子どもたちに伝えています。取組を通して、子どもたちの成長を地域と家庭が共に見守っているのです。皆様の子育てに役立つ多くの学びがあるはずです。阿蘇で共に学びましょう！



講演



中江神楽保存会  
波野子供神楽クラブ

## 第1分科会

会場 西原村総合体育館(600名) アトラクション 西原夢蓮太鼓  
運営責任者 川本 義尚(教養委員会)



講演



北里柴三郎記念館 館長  
北里大学名誉教授・医学博士  
北里 英郎氏

記念講演

演題 現在に生きる北里柴三郎の教え

世界的な業績から「日本近代医学の父」と呼ばれ、「おやじ」と人々に慕われた北里柴三郎。阿蘇郡小国町出身の郷土の偉人として、今年新たに発行された新千円札の肖像となったことでも話題となっています。その曾孫に当たり、自らも医学博士として北里柴三郎の顕彰活動に従事する北里英郎氏は、現代に受け継がれる「柴三郎の教え」から子どもたちの成長や活躍に繋がる学びを伝えてくれます。

テーマ 家庭教育

演題 繋がりたい！“子どもたちのために”

子どもたちの発達において重要な要素である音楽。阿蘇郡西原村出身のアーティストとして、音楽健康指導士として活躍されているそがみまこ氏は、音楽を通じて様々な人々の心に光を届ける活動を行っています。また、全国の子どもたちのために奔走する父親の姿を見て育った幼少期の希少な体験から、私たち大人に対し、未来の子どもたちへ繋がる想いを伝えてくれます。



講演



元DOYO組デュオ  
ソロアーティスト  
音楽健康指導士  
そが みまこ氏

## 第3分科会

会場 高森中学校体育館(400名) アトラクション 子どもダンスチーム  
運営責任者 狭間 直美(広報委員会)

テーマ 教育支援

演題 コアミックスが目指すエンタメ業界と連携したまちづくり

熊本県立高森高等学校に日本で初めて新設された「マンガ学科」。そして、女性のみで構成され舞台公演を行う「096k熊本歌劇団」。いずれも阿蘇郡高森町を拠点とし、町と連携する熊本コアミックスの活動であり、全国的にも話題となっています。人材育成と地域復興を目標とする代表の持田修一氏は、若い世代に期待しながら、未来の子どもたちに繋がる想いを伝えてくれます。



講演



熊本コアミックス代表取締役社長  
持田 修一氏

テーマ ICT教育

演題 将来の子どもたちに誇れる高森町へ！  
～誇りと夢と元気を生み出す教育によるまちづくり～

「ICT教育」と耳にすれば、先進的な取組を行っていることで全国的に認知されている高森町。先進的なICTの利活用や、これまでの成果に見られる今後の展開、授業における実践事例からの有効性、保護者として知っておくべきことなどを石井佑介氏にご講演頂きます。この取組を通して、各自治体間の格差や課題を浮き彫りにし、各エリアや単位PTAでの議論に繋がることを期待します。



講演



高森町教育委員会  
審議員 兼 教育CIO補佐官  
石井 佑介氏